



西条市立西条図書館ヤングアダルトコーナーフェア案内

YAおすすめ本 2025年10月 フェアテーマ

『マストYA』



ヤングアダルト向きの本の出版も広く浸透して増えてきました。このところは、『13歳からの』『14歳からの』『15歳からの』とタイトルに謳っているものがたくさんあります。そういった完全にYA世代に向けて作られた書籍を中心に紹介します。

書誌提供：TRC図書館流通センター 書誌情報より



西条市立西条図書館

住所：西条市大町1590

TEL0897-56-2668

開館時間9：30a.m.~20：30p.m.

10月フェア『マストYA』おススメ本13歳編をご紹介



『13歳からのグラレコ』

樋口 美由紀 メイツユニバーサルコンテンツ 2024.12

/375/七/

わかりやすく、記憶に残りやすく、アイデアが広がる！ 絵や図を使ってノートとめる方法を紹介。実際のかき方や目的別活用法、使用例、話し合い・授業での使い方などを解説する。



『13歳からの世界地図』

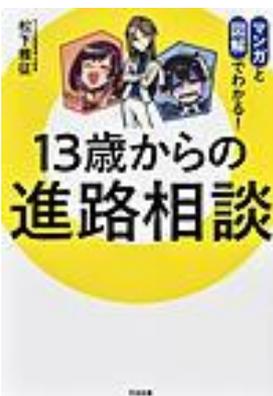
井田 仁康 幻冬舎 2024.9 /290/一/

世界のニュースに関心をもちはじめた子どもが、そのニュースを理解するために役立つよう、世界の国の基本的な情報や特徴を解説。現代のニュースに関わるトピックも、地図や統計、写真などとともに取り上げる。

『13歳からの進路相談』

松下 雅征 すばる舎 2023.2 /159.7/ア/

偏差値で決めるだけが正解じゃない！ 自分にあった進路を選ぶために何をすべきか。これからの時代に求められる進路選びの考え方から具体的なアクションまでを、主人公シンを含む3人のやり取りを軸にした物語形式で紹介する。



10月フェア『マストYA』おススメ本14歳編をご紹介



『ぼくたちはChatGPTをどう使うか』

14歳から考えるAI時代の学び』

東大カルペ・ディエム 三笠書房 2025.2 /007.1/林/

読書感想文の高速フィードバック、英文を作ってもらってシャドーイング…。東大に合格している人たちがどのようにChatGPTを活用していたのかを取材し、“いい使い方・ダメな使い方”を生徒と先生の会話形式で解説。



『図解でわかる14歳からの自分を助ける心理学』

社会応援ネットワーク 太田出版 2025.3 /140/ス/

日々のストレスや悩みに向き合い、自分で乗り越えることができるよう、科学的な心理学の理論から、臨床心理の現場で活用されている最新の実践的手法までを紹介。



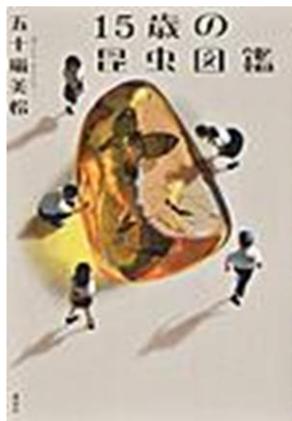
『シナリオ・センターが伝える14歳からの創作ノート』

新井 一樹 KADOKAWA 2024.6 /901.2/ア/

小説、マンガ、YouTube、脚本、ゲームシナリオ…。登場人物の作り方から、アイデアを形にする方法、アウトプットの仕方まで、楽しく創作するために必要な「表現技術」と「作家の頭・腕・眼」を徹底解説する。



10月フェア『マストYA』おススメ本15歳編をご紹介



『15歳の昆虫図鑑』

五十嵐 美怜 講談社 2024.11 /913/1/

「わたしとも遠藤さんともうまくやってる鈴木さんは、アメンボに似てる」虫オタな転校生が、悩める4人のクラスメイトの魅力を「昆虫」にたとえばはじめると、クラスメイトたちが次々と「新しい自分」を発見し…。



『15歳からの社会保障』

横山 北斗 日本評論社 2022.11 /364/3/

ケガで仕事を休まなくてはならず、医療費と生活費に困ったユウジ。発達障害の子どもを育てるジュンとマコ…。10代から40代の登場人物10人のエピソードを通して、さまざまな社会保障制度を伝える。



『15歳からの地球温暖化』

杉山 大志 育鵬社 2022.1 /451.8/7/

地球温暖化の影響で起こるといわれている様々な問題について、どれくらい危険なのか、観測や統計をもとに解説。また、地球温暖化は誰が調べたり議論しているのか、なぜ間違った情報が広まってしまったのかなども説明する。

